

KISETSU



企業のためのよろず情報誌



主な話題

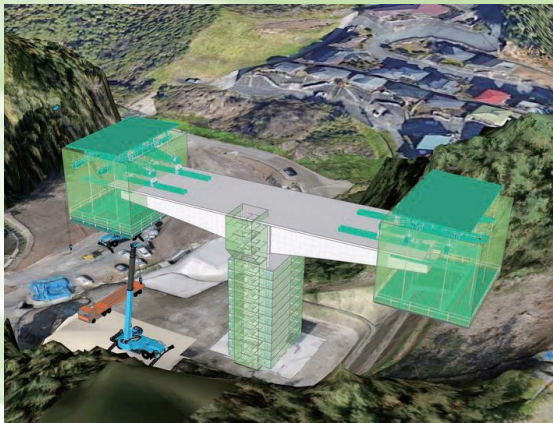
- ・ 働き方改革への挑戦 — ①ICT 編
- ・ 建設業チャレンジ支援センター開設
- ・ 特集 トンネル新設工事が本格化



札幌エスタを解体した跡地などに高さ245mの複合ビル(上・イメージ図)が2028年度に誕生します。2003年に開業し札幌駅南口のランドマークとなっているJRタワー(下・写真)の高さ173mを大きく上回ります。

働き方改革への挑戦 ①ICT編 生産性向上 中小現場への普及がカギ

「働き方改革」への対応について、6月号で「担い手」に関する話題をお届けしましたが、7月号以降ではもう少し詳しくお伝えします。テーマはICT（情報通信技術）を活用した生産性向上、リモート導入による多様な働き方、そして週休2日。第1回目は「ICT編」です。



3Dモデルによる橋脚工事

札幌市では、2019年8月に、建設産業の活性化を図り、将来の建設産業の持続可能な体制につなげることを目指し、建設業界と市が課題や目標を共有し、両輪となって取組を進めていく指針として「さっぽろ建設産業活性化プラン」を策定しました。

プランでは8つの目標を設定しています。このうちの1つが生産性向上につながるi-Construction（略称・i-Con）の推進です。i-Conとは、調査、測量から設計、施工、検査、維持管理、更新までのあらゆる建設生産プロセスにおいて抜本的な生産性向上を目指す取組のことで、その際にはICT活用

が必要不可欠です。

ICT活用は、北海道開発局発注工事で先行しています。件数、活用範囲ともに広がり、大型の土木工事ではほぼ一般化しています。しかし札幌市発注工事ではほとんど普及していないのが実態です。札幌市では、活性化プラン策定に先立って、市内の建設企業にアンケートを実施しました。このうち、i-Conについては取組状況と取組が難しい理由、そして取組むために必要なことを聞いています。

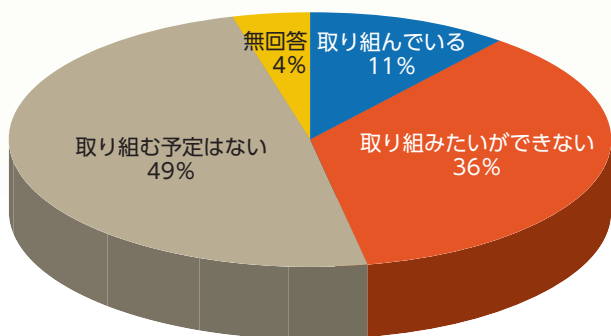
「取組むつもりはわずか1割」

取組状況に関しては、「どきない」「予定していない」が回答全体の85%を占め、「取組むつもりはわずか11%でした。取組が低い理由のトップは「市街地の規模の小さい工事では適用できる場面がない」（43%）、これに「新しい技術を扱える人材が確保できない」が32%と続

いています。取組むために必要なことを聞くと「市街地の小規模工事で適用できる新技術の導入」と「ICT建機の導入費用に対する助成制度の拡充」が上位でした。

札幌市では、活性化プランスタートと併せて、まず即効性のある対策として施工計画を含めた建設プロセスでICT活用工事対して50万円の助成などを決め、21年9月から実施し、市街地工事や維持管理分野へのICT活用に向けて検討作業を進め

i-Constructionの取組について
(2019年度札幌市調査)



「20代の理解早い」「2次元データの活用も」

生産性向上と人材定着も

ICT活用は、3DCADなどソフトウェアを含めた設備投資、人材の育成など、どれも難しい課題を抱えています。特に設備投資に関しては、ソフトウェアの更新は企業にとって重い負担となります。

北海道建設部が2022年4月にまとめたモデル工事におけるアンケート結果でも、ICT未実施の理由では「重機や機器のレンタル費用等でのコスト増加」「3Dデータ作成者やオペレーターなどの技術者確保が困難」などが上位となり、費用増加と人材確保が導入のネックになっていることが伺えます。

しかし、ICT活用のメリットは、工期短縮や生産性向上だけではなく、最新の技術を導入し学ぶことが、

若手技術者の活躍の場となるケースが多く、人材の定着の面でも効果が見期待できます。札幌市に本社を置くある企業のトップは「ICTに対しては20代の社員の理解が圧倒的に早い。現場でものを作るという建設業の基本は変わらないが、将来を見据えた時、企業としてデジタル化に対するビジョンを持つ必要がある」と話しています。

デジタル化の波を見据えて

札幌産業流通振興協会などで構成する「イベントランド北海道2022実行委員会」は6月8～9日、アクセスサッポロでi-conの推進を目的としたセミナーと展示会を開催しました。

セミナーでは、岩内町に本社を置く協成建設工業工務部ICT課の下

澤哲也室長が「i-conはじめてみました。中小企業の取組」とのテーマで講演しました。同社では重機は所有せず、内製化でi-conに対応しています。講演では人員が限られている中小企業がどのように取り組み、定着させたのかを分かりやすく



「『ハイブリッド』の発想も必要」と指摘する下澤室長

く解説しました。

下澤室長は「作業ヤード造成の際、地形データを基に施工基面を決めたことで、掘削と盛土量の正確な把握が可能となり、作業の効率化が図られました。3Dの最大のメリット

は、誰が見ても施工の内容が分かること。地先に説明する際の分かりやすい資料となり、現場負担の軽減となります」と語り、「すべての資料を3D化すると時間がかかります。断面図などの2次元データなど、活用できるものは使うという『ハイブリッド』の発想も必要」とアドバイスしました。

ICT活用は、すべての作業をデジタルに置き換える、と考えがちですが、効率化などを進めるための一つのやり方、と考えるべきです。そして、デジタル化で人材不足を補う、という意識も必要です。デジタル化の波は今後もとどまることなく押し寄せてきます。その現実を見据えながら、人材確保・育成の観点から、働き方改革への有効な対応策と認識し、取組を進めていくことが求められています。

建設業チャレンジ支援センター開設 「伴走型の支援」で経営者の身近な存在 にー事務局長の立花克則TSR道支社 情報部部长に聞く

厚生労働省委託事業の通年雇用促進支援事業の一環として、さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会で取り組む「建設業チャレンジ支援センター」が、2022年度の業務を開始しました。助成金の活用や人材確保などの相談に無料で対応するなど、札幌市内の中小建設業者をサポートします。同センターの業務を受託・運営する東京商工リサーチ(TSR)北海道支社の立花情報部部长に、本年度の取組について聞きました。

ー支援センターの役割について

建設業チャレンジ支援センターは、経営に関する相談、社会保険労務士ら専門家支援を無料で受け付けています。昨年は助成金や雇用に関



事務局の立花部長

する相談が多数寄せられました。

企業と労働者双方の利害が一致した季節雇用は、多様な働き方の一つだと思えます。他方で、やむを得ず季節雇用にしてきたが、仕事が増えたので通年雇用に切り替えたいといった場合には、通年雇用助成金などさまざまな支援制度があることで、丁寧な説明で利用につなげていきます。

毎年、多くの企業を訪問していますが、忙しい経営者に会える機会は

少ないので、まずは配布するリーフレットなどに目を通してもらい、活用してほしいと考えています。

金融機関や取引先などに相談できない悩みを抱える経営者もいると思います。見ず知らずの私たち相談員がいきなり「何か困っていることありませんか」と言うと、「戸惑われることもありませんが、「伴走型の支援」を心掛けながら、作業服を着て企業訪問をするなど、少しでも身近な存在として感じてもらえるような工夫をしています。

ー本年度事業のポイントは

建設業の人手不足は深刻です。旧来のイメージが、若い人にとつて入職の障壁になっていると感じます。

ことし8月に開く勉強会では、キャリアフォローアカデミー代表の藤塚優子さんに、求人票で若い人を引きつける方法を具体的にアドバイスしてもらおう予定です。紙の求人票にQRコードを載せて実際に働く姿を動画で紹介するなど、ちょっとした工夫が採用の成功につながりま

す。

また、来年1月に開く予定の講演会は、岐阜県で左官業を営む挟土秀平さんに講師を依頼しました。左官の技術を芸術の域にまで高めたトップクラスの職人に、ものづくりに対する思いを語ってもらいます。

これらの勉強会や講演会は、アーカイブにしてWeb配信するので、出席できなかった方もパソコンやスマホでいつでも見られます。

いずれの勉強会、講演会も参加無料なので、多くの企業の皆様に、ご利用・参加していただけるよう、今後、随時、ご案内してまいります。

建設業チャレンジ支援センター

利用時間：9:00～17:00

(土・日・祝日、年末年始を除く)

電話.011-213-1647

FAX.011-213-1648

e-mail : sapporo-kisetsu@tsr-net.co.jp

所在地：札幌市中央区北4条西5丁目1

アスティ 45 10階

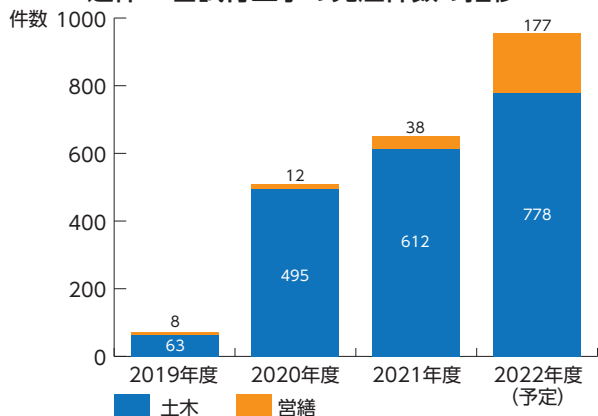
※事前の予約が必要です

札幌市の週休2日試行工事 21年度は対象工事の93%で受注者が実施を選択 22年度は955件で試行へ

札幌市は、2021年度の週休2日試行工事の達成状況を公表しました。財政局、水道局、交通局が発注した対象工事650件のうち、92.8%に当たる603件で週休2日に取り組みことを受注者が選択し、21年度内に完了した試行工事の97.9%で4週8休を達成しています。22年度は、水道局がほぼ全ての工事を試行対象とするほか、営繕工事でも対象を拡大し、955件での試行を見込んでいます。

2021年度の試行対象工事は、土木612件、営繕38件の計650件でした。これらを受注した業者からは、土木576件、営繕27件の計603件で週休2日の実施表明があり、47件が表明なしでした。

週休2日試行工事の発注件数の推移



2021年度末までに施工が完了していない継続工事など20件を除く表明工事583件の達成状況を見ると、4週8休を達成した工事は571件となり、達成率は97.9%になりました。4週7休が5件(0.9%)、4週6休が4件(0.7%)

それぞれあり、それ以下の不達成が3件(0.5%)でした。

市の財政局と水道局が発注した工事を対象とするアンケート調査には、元請46社が回答を寄せました。工期設定に関する質問には「余裕があった」「適切だった」という回答が91%に上りました。

休日の取得状況については「計画的に取得できた」が最多の81%で、「やむを得ない事由で予定外の休日を振替休日とした」が17%、「工期延長により計画的に取得できなかった」が2%ありました。

試行工事のインセンティブについては「現行の工事成績評定による2点の加點評価が妥当」とする答えが89%を占めました。

試行工事の良い点を挙げてもらうと、「体のリフレッシュになり、心身ともに余裕ができた」との意見がある一方、問題点として「日給制の社員は収入が減少」という指摘があ

りました。

どのような工事が試行対象だと取り組みやすいかを尋ねると、舗装路面改良や水道管更生という意見が多い一方、取り組みにくい例としては「歩道バリアフリーなど地先との協議が影響する工事」などが挙げられました。

市では、2019年度から週休2日の試行を開始し、土木63件、営繕8件の計71件を対象工事として発注しました。20年度は土木495件、営繕12件の計507件と大幅に試行対象を拡大し、21年度も土木612件、営繕38件の計650件と増やしてきました。

2022年度発注工事では、水道局の比較的小規模な管工事も対象に加えるほか、営繕工事も夏休みや冬休みに施工を集中させる学校改修工事などを除き原則対象とするなどにより、土木778件、営繕177件、計955件で試行する予定です。

明園小学校校舎改築の計画概要 新校舎は2期に分けて建設 児童会館と複合化

札幌市教育委員会は、東区北19条東14丁目1の1にある明園小学校の校舎改築に向けた計画概要をまとめました。2023年秋着工予定の新校舎には、現在、東区北16条東16丁目2の1に所在する元町南児童会館と、軽運動ができる多目的ホールの機能などを追加して複合化を図る方針です。新校舎建設の工程は2期に分け、現校舎を使用しながら新校舎の主要部分を見て、既存校舎の解体後に給食室や児童会館、多目的ホールなどを整備し、27年度に完成の見込みです。

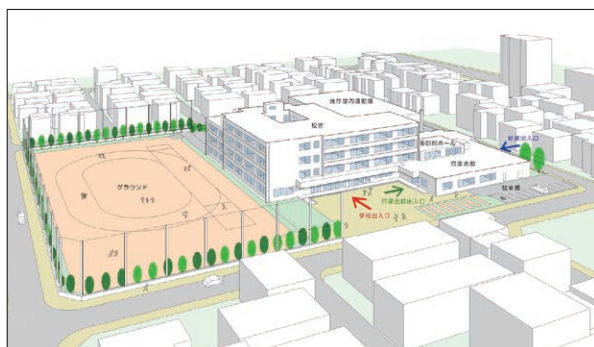
東区内の美香保小学校と札幌小学校から分離し、1967年に開校した明園小学校は、新設時に建設した鉄筋コンクリート造、3階建ての校

舎を、増築を重ねながら使用してきました。建設から50年以上経過し老朽化が進み、改築が決まりました。屋内運動場は98年に改築されているため、継続利用する方針です。基本計画段階の概算事業費として、校舎などの建設に約30億円、解体に約4億円、グラウンド造成に約2億円を見込んでいます。

新校舎の建築設計は都市設計研究所(本社・札幌)、設備設計はビーゴイング(同・札幌)が担当しています。新校舎は、4階建て、延べ床面積6,474㎡の規模で計画し、さらに延べ約300㎡の児童会館と延べ約150㎡の多目的ホールが加わり、棟全体で延べ7,000㎡程度となる見込みです。

校舎1期

工事となる主要部分では、ワークスペースと一体利用できる普通教室を2〜4階に2学年ずつ、計15室確保しま



明園小改築のイメージ

にします。

新校舎の建設は2023年10月に着工し、25年4月に1期部分の供用開始を目指します。続いて25年4月から26年3月までに現校舎とプールを解体。2期となる校舎東側部分の建設は26年5月の着工、供用は27年6月を見込んでいます。

校舎2期工事と並行して、グラウンド整備を2026年6〜12月に予定しています。外構整備は27年12月までに終える計画です。

特別支援学習室は職員室と保健室に近い2階に配置。通風と採光を確保するため校舎中央には中庭を設けます。

2期工事の東側部分には、新設する給食室(延べ350㎡)のほか、多目的室1室、児童会館、天井高約6mの多目的ホールを配置します。児童会館には遊戯室や集會室、クラブ室、事務室などを設ける予定です。専用玄関を設け、放課後に小学校敷地外に出ることなく入館できるよう



増築を重ねた明園小の現校舎

市営住宅で初めてのDB方式を検討 光星団地5号棟の3階以上部分の耐震改 修や住戸改善で24年度にも着工を計画

札幌市は、市営住宅光星団地5号棟の耐震改修ほか改善事業の実施に当たり、技術的難易度の高い工事に民間事業者のノウハウを活用するため、実施設計、工事、工事監理を一括して発注するデザインビルド(DB)方式を採用することを検討しています。総工費に約14億6,200万円を見込み、2023年度に設計・施工業者と契約締結し、23～24年度で実施設計、24～26年度の施工を予定しています。

東区北12条東7丁目3ほかに所在する光星団地5号棟は、1970年建設の5階建てと71年建設の6階建ての2棟で構成し、札幌市と札幌振興公社が区分所有する建物で、地下鉄東豊線東区役所前駅の4番出入り

口に面しています。



1、2階の店舗を営業したまま3階以上の改修を検討する光星団地5号棟

1・2階は札幌振興公社が所有する改良店舗「光星ショッピングセンター」、3階以上が市営住宅で管理戸数は96戸です。改良店舗と市営住宅部分は、鉄筋コンクリート一部鉄骨鉄筋コンクリート造、5階一部6階建て、延べ床面積8,909㎡の規模です。

耐震改修促進法の改正に伴い、

2006年度に実施した耐震診断の結果、耐震基準を満たしておらず、「札幌市市営住宅長寿命化計画」で、耐震改修を含む全面的改善事業を行う住棟として位置付けられました。

1・2階の店舗部分は、14年に売場のリニューアルに合わせ既に耐震改修が実施されています。

3階以上にある市営住宅は、耐震改修が未実施のほか、施設の老朽化に伴い住戸排水管からの漏水が発生しています。また、各住戸には浴室、洗面台、洗濯機置き場が無い、集会所が整備されていないなどの課題もあります。

このため、2020年度に策定した「市営住宅光星団地5号棟耐震改修等基本計画」では、改修後の整備戸数を57戸程度に再編し、集会所や各住戸には浴室や洗面台、トランクルームを新たに設ける方針を示しています。

改修工事は原則、店舗の営業継続

を前提にしているため、3階の住戸を廃止して、配管類を集約するパイプスペースにして、工事中の階下への騒音・振動を軽減することも、2階店舗部分での施工範囲を縮小する考えです。

約80台が駐車できる敷地内の駐車場についても、工事足場や荷揚げクレーンなどの仮設に使用するスペースが最小限となるよう配慮が求められます。

これら難しい施工条件をクリアするため、市営住宅の整備では初めてとなるDB方式を採用する意向です。

市では、DB方式の採用に向けて専門家の知見を得るため、アドバイザリー業務を委託。事業者選定やDB方式採用時の留意点、経済性を考慮した工事の考え方、店舗の営業を継続しながら改修する際の課題と対処方法などについて、アドバイスを受ける予定です。

①北海道開発局編 求む新戦力！ リクルート戦略を検証

少子高齢化と人口減少が進む中、若手人材を確保するために、各企業が知恵を絞っています。「効果的なリクルートの方法はないか」。そんな採用担当者のヒントになるような取組をシリーズで紹介します。第1回は北海道開発局。意表を突いた動画で大きな反響を呼んでいます。

映像業界などで活躍中の有志による北海道開発局のリクルートムービー「こんな仕事がある。」が完成し、5月10日にYouTubeにアップされました。

動画では、1980年代に流行した家庭用ゲーム機のような8ビットグラフィックにより、道路や河川などの社会インフラ整備ミッション

に向けて、さまざまな条件や課題を乗り越えて遂行するというストーリー。最後に「君が決める。街ができる。」というメッセージとともに北海道開発局を紹介し、「われわれは君のミッション参加を待っている」と呼び掛けています。再生回数は6月上旬で約6,000回に達し、公共機関のリクルート動画としては異例のヒットとなっています。

この動画は、開発局の新規採用業務を担当する職員が「北海道の社会経済を支えるインフラ整備と開発局の役割を若者にもっと知って欲しい」とアイデアを練り、この主旨に賛同した市内のクリエイター、デザイナー、声優、技術スタッフらが「こんな仕事がある。委員会」を結成。

それぞれの分野のプロ達が全面的にサポートして作成した「非公式」動画です。

委員会には、再生回数3万回を超え、建設業関連のPR動画としては大ヒットを記録した北海道測量設計業協会の業界PR動画「測量ボーイズ」の制作を担当した株式会社橋本亜矢社長ら、道内外で活躍中のメンバーが名を連ねています。

親しみやすい内容とグラフィック

動画では、8ビットグラフィックによる遊び心あふれるシミュレーションなどを全面的に活用。物流効率化と交流人口の増加を目的に、A

市とB市を結ぶ道路建設を例に挙げ、複数の工法とルート、コストの検証や環境への影響などを踏まえた上で工事が始まる、というストーリーを通じて、インフラ整備が行われる背景を分かりやすく説明し



山と川を挟んだ市を結ぶ道路をどう整備するか。このミッションを8ビットグラフィックによる遊び心あふれるシミュレーションで紹介している

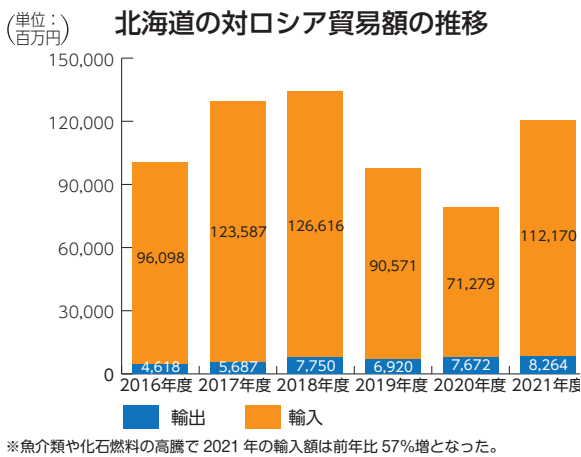
話しています。そして動画の最後では、「君が決める。街ができる。」というメッセージとともに、北海道開発局を紹介し「われわれは君のミッション参加を待っている」とのナレーションが流れます。制作の中心メンバーの橋本さんは「若者が開発局に関心を持ってもらうため、できるだけわかりやすい内容・ストーリーにしました。堅いイメージのある開発局ですが、1人でも多くの方が開発局とインフラ整備に関心を高めてくれれば嬉しい」と話しています。

ロシアと北海道の貿易状況 主な輸入品の魚介類と化石燃料の価格上昇 道銀総研が分析

ロシアによるウクライナ侵攻が長引く中、ロシアと地理的に近い北海道では、さまざまな方面で悪影響が懸念されています。道銀地域総合研究所（本社・札幌）が、ロシアと道内経済のつながりについて、財務省「貿易統計」などのデータをひもとき、対ロシア貿易の実情を分析しています。

地理的に近い北海道における対口貿易の特徴としては、輸出全体におけるロシア向けのウエートが27%と全国（1%）を上回っています。さらに、輸入全体に占めるロシアのウエートは9.4%と1割近いシェアがあり、全国（1.8%）を大きく上回ります。

2021年の北海道の対口貿易を品目別にみると、ロシア向け輸出で



は「機械類及び輸送用機器」が86.3%のウエートを占め、その7割弱が中古自動車であり、輸出合計額の過半を占めています。一方、輸入では魚介類を中心とした「食料品及び動物」がロシアからの輸入全体の50.6%、天然ガスや石炭など「鉱物性燃料」が44.6%と、この2つ

でほとんどを占めています。

北海道の輸入品目の中で、ロシア産のウエートが特に大きいのが海産物です。「うに」は輸入品に占めるロシア産のシェアが97.4%で、「かに」も84.1%をロシア産で占めています。「さけ・ます」の輸入は51.3%がロシアからでした。

ロシアからの輸入品の価格推移は、2021年になって以降、供給量減少などの影響もあり、「かに」や「うに」は値上がり傾向が鮮明です。22年3月のロシアからの輸入単価は、「かに」前年同月比3.8%、「うに」は同12.1%の上昇です。新型コロナウイルス感染症の流行で、20年に飲食店の需要が減少し、価格が落ち込んだ反動もあるものの、両品目とも13カ月連続で上昇しました。

輸入単価の上昇は、札幌中央卸売市場の取扱単価にも波及し、22年3月は「冷凍たらばがに」は前年同月比で27.8%、「輸入うに」は同17.8%の上昇となりました。

海産物以外の輸入品目で、ロシアへの依存度が高い「天然ガス及び製造ガス」や「石炭」は、オーストラリアなどの他国からの輸入もありませんが、世界有数のエネルギー産出国のロシア貿易が停滞し、国際的な供給減少を受けた価格上昇が起りつつあります。

国土交通省「港湾統計」による道内港湾別の輸入貨物輸送量では、ロシアからの輸入貨物量が多いのは、石狩湾新港の125万t、苫小牧港の76万tで、主な品目は液化天然ガスと石炭です。

一方、輸入貨物量は多くなくても、ロシアとの関係が密接な港湾もあります。根室港はロシアとの貿易額のウエートが100%ですし、留萌港は73.2%、紋別港は57.7%、稚内港は56.7%となっています。こうした地域では、ロシアからの輸入貨物量の減少によって、輸入企業だけでなく、運送業や倉庫業などの関連産業への影響が懸念されています。

本年度以降22トンネルを事業化へ 開発局などが計画、新幹線は明かり区間に着工

北海道開発局ほかの2022年度

以降のトンネル新設など大型土木施設計画がまとまりました。トンネルについては開発局と北海道、NEXCO東日本北海道支社の3機関で22トンネルの事業化を計画。また、鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）北海道新幹線建設局では、倶知安駅などの周辺で地上部分（明かり区間）の工事が本格化します。

各機関の発注見通しや事業計画などを基にまとめました。トンネルについては、開発局が15、北海道が1、NEXCO東日本が6となっておりま

す。このうち開発局では22年度に、函館開建が道縦貫道七飯町大沼トンネル、小樽開建が5号共和町新稲穂トンネルに着工します。両トンネルとも2工区に分かれ、8-9月にも公

告となる見通しです。

このうち、大沼トンネルは現在避難坑の整備が進んでいて、今回発注となるのは本体坑です。総延長は約7kmと、開通すれば北海道の道路トンネルでは最長となります。留萌開建でも239号苫前町苫前トンネル



掘削が進む大沼トンネル避難坑

に着工します。室蘭開建では23年度以降に日高自動車道などで3トンネルの着工が予定されています。また、札幌開建では創成川通トンネルを計画。21年度に新規事業化され、総事業費に約1,200億円を投じ、札幌北1Cと既存の創成トンネルを結ぶもので、総延長はトンネルを中心に約4.7kmに及びます。22年度は約7億円を予算化

主要機関のトンネル計画一覧

発注機関	名称	延長	開札時期	工期
札幌開建	5号創成川通トンネル（都心アクセス道路）	約4,800m	2023年度以降	
函館開建	北海道縦貫自動車道七飯町大沼トンネル西大沼工区	総延長7,093m	2023年1-3月	48カ月
函館開建	北海道縦貫自動車道七飯町大沼トンネル峠下工区	総延長7,093m	2023年1-3月	48カ月
小樽開建	5号共和町新稲穂トンネルL側共和工区	3,060m	2023年1-3月	48カ月
小樽開建	5号共和町新稲穂トンネルL側仁木工区	3,560m	2023年1-3月	48カ月
留萌開建	239号苫前町苫前トンネル	1,632m	2023年1-3月	34カ月
函館開建	229号乙部町館浦地区トンネル	800m×2本	2023年度以降	
小樽開建	229号島牧村島牧防災新穴潤トンネル	1,518m	2023年度以降	
小樽開建	229号島牧村島牧防災新栄浜トンネル	約1,500m	2023年度以降	
室蘭開建	日高自動車道静内三石道路静内～東静内間トンネル	2,030m	2023年度以降	
室蘭開建	日高自動車道厚賀静内道路（仮称）静内トンネル	2,010m	2023年度以降	
室蘭開建	274号日高町清瀬防災トンネル	1,857m	2023年度以降	
帯広開建	236号広尾町野塚防災川見トンネル	2,000m級	2023年度以降	
留萌開建	239号苫前町仮称古丹別トンネル	420m	2023年度以降	
留萌開建	239号苫前町仮称苫前トンネル	1,632m	2023年度以降	
小樽建管	小樽環状線最上トンネル	1,187m	9月15日開札	34カ月
NEXCO	占冠IC-トマムIC間東占冠トンネル	2,500m	2023-24年度	
NEXCO	占冠IC-トマムIC間ホロカトマムトンネル	1,980m	2023-24年度	
NEXCO	占冠IC-トマムIC間下トマムトンネル	740m	2023-24年度	
NEXCO	占冠IC-トマムIC間滝の沢トンネル	950m	2023-24年度	
NEXCO	トマムIC-十勝清水IC間第2狩勝トンネル	2,590m	2023-24年度	
NEXCO	トマムIC-十勝清水IC間第1狩勝トンネル	2,350m	2023-24年度	

し、地質調査などを進めています。

北海道は小樽建管が小樽環状線最



25年度の完成を目指す広内トンネルの完成予想パース

上トンネルを計画。最上トンネルはすでに公告となっていて、9月15日に開札となります。

NEXCO東日本は、道東道4車線化事業に伴い、23・24年度にかけて占冠IC・十勝清水IC間の東占冠トンネルなど6トンネルに着工する計画となっています。

占冠IC・トマムIC間には東占

冠、ホロカトマム、下トマム、滝の沢の4トンネル、トマムIC・十勝清水IC間には狩勝第1と狩勝第2の2トンネルがあります。

これら6トンネルは、22年度中の設計完了を予定。23・24年度に順次着工となる見通しです。また、十勝清水IC側にある広内トンネルについては鴻池組・中山組JVが25年2月の完成に向けて工事を進めています。

新幹線、明かり区間に着工

JRTTの北海道新幹線のトンネル工事はすべて施工中です。17トンネル(40工区)の総発注額は約4、420億円に上り、掘削工事が各地で本格化あるいは完了しています。

22年度に入ってから、札幌トンネル桑園工区で地盤改良工に着手したほか、同トンネル星置工区と二ツ森トンネル明治工区などで重機による掘削を開始。一セコトンネル(延長2、250m)については、4月15日に貫通し、全17本のトンネルのうち、昆布、宮田、一股と併せて4

本のトンネルの掘削が完了しています。



札幌トンネル桑園工区では地盤改良工に着手しました

トンネル掘削と併行して、22年度からはいよいよ地上部(明かり区間)の工事がスタートします。同機構が4月に公表した22年度の事業概要と発注見通しによると、北海道新幹線の建設事業費は21年度比42%増の1、350億円。トンネル掘削の本格化と明かり区間の着工などにより大幅増となっています。

22年度の新規発注は新駅周辺など

の明かり工事が中心。工期に56カ月を見込む「倶知安駅高架橋他」など17件を予定しています。また、新八雲、長万部、倶知安、新小樽の各駅舎などの設計業務も発注となります。

工事場所は長万部町と倶知安町が大部分を占め、工種は土木・PCなどが中心。政府調達協定(WTO)は15件に上ります。

工事は本線や保守基地通路線・保守基地などの高架橋などを整備する「倶知安駅高架橋他」を第2・四半期に発注します。この工事では、本線部分だけでRC橋脚44基、ラーメン高架橋38連、RC場所打T桁橋78連などを予定。今後工事が進むと3km以上にわたって橋脚と橋桁が並ぶ壮観な光景が広がることとなります。

このほか、長万部町の「平里高架橋他」(工期39カ月)、北斗市の「北斗大野橋りょう」(PCけた) (同36カ月)も同時期に発注となります。「新小樽(仮称)駅高架橋外1箇所他」(同32カ月)は第4・四半期の発注を予定しています。

変貌する街並み —大型プロジェクトの現場から— 「PIVOT」と「北5西1・西2地区市街地再開発事業」

札幌市内では今、複数の地区で大規模再開発事業やビルの建て替えなどが進行中です。これらの施設は、街並みを大きく変え、くらしにぎわいに大きな影響を与えます。今回は大通ゾーンの「PIVOT」(ピヴォ)と、札幌駅の「北5西1・西2地区市街地再開発事業」を紹介します。

23年5—10月にかけて閉館

札幌・大通ゾーンでは、2022年1月に閉館した「4丁目プラザ」に続き、「PIVOT」(ピヴォ)「南2条西4丁目」も閉館、解体されることになりました。5月26日、同ビルを所有するダイビル(本社・大阪市北区)は「ダイビルP-VO」(「ダイビルP-VO西館」「ダイビルP-VO南館」)について、

2023年5月から10月にかけて閉館すると発表しました。

「PIVOT」は、中心街ビル(札幌市中央区)が1969年に建設したビルで、「中心街デパート」の名前で開業。73年には旧ダイエーの北海道1号店が入り、ダイエーの道内展開の嚆矢(こうし)となったことで知られています。93年にダイエーが撤退後「PIVOT」に衣替えして、「4丁目プラザ」、「札幌パルコ」などと大通ゾーンのファッションビルとして市民に親しまれてきました。

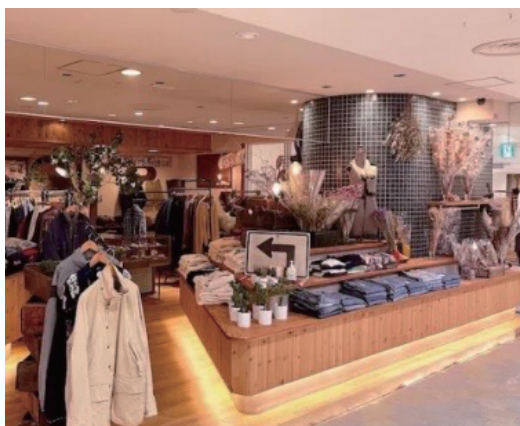
その後、大阪の老舗オフィス・商業施設賃貸業のダイビルが2019年11月に「PIVOT」と隣接する「ペンタグラムビル」「桂和MTビル」を取得。それぞれ「ダイビルP-VO

OT」、「ダイビルP-VO西館」、「ダイビルP-VO南館」に名称を変更し、現在に至っています。

3館に約50のテナント

「ダイビルP-VO」は、1969年竣工で地下3地上9階建て、延べ床面積約2万814㎡、「ダイビルP-VO西館」は85年に竣工し地上3階建て、延べ床面積約214㎡、「ダイビルP-VO南館」は、69年竣工で地下2地上7階建て、延べ床面積は約2,567㎡。3館の敷地面積は約3,108㎡となっています。

「ダイビルP-VO」には、「ユニクロ」や「ジーユー」「アングリッド」などのファッション系のテナントと「タワーレコード」「ダイソー」など約50のテナントが入居し、札幌市の代表的な商業ビルとして多くの若者でにぎわいを見せていました。閉館時期は「ダイビルP-VO」と「ダイビルP-VO西館」



23年5月で閉館する「PIVOT」

が2023年5月末、「ダイビルP-VO南館」は同10月末となります。閉館後に解体し、新ビルを建設するが、ダイビルでは「札幌市や関係各位と協議、ダイビル初の札幌エリアにおける新規プロジェクト

として人々に親しまれ、街の活性化に貢献する計画となるように検討を進めます」とコメントしています。

高さは245mと道内1に

JR北海道グループと札幌市は5月18日、「北5西1・西2地区市街地再開発事業」(仮称)の整備方針を発表しました。商業施設「エスタ」解体後の跡地と札幌市が保有する用地を一体化した約2ha超の駅前敷地を活用する大規模開発となります。北海道新幹線札幌駅開業や2030年札幌冬季オリンピック・パラリンピック招致を見据えた「世界へつながるさっぽろ」の新たな顔づくりを実現します。

事業主体は、札幌市、JR北海道グループ5社で組織する札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合。建物は地下4階、地上43階、高さは約245mとJRタワーの高さ約173mを超えて道内一になります。

1階のバスターミナルを除き、地下1階から地上10階までが商業ゾーン、10階以上にはホテルやオフィスを配置。41〜43階は展望施設となり、地下2階以下は機械室などになります。

延べ床面積は約38万8,500㎡、容積率は約1,500%。主な用途別の面積を見ると、商業が約10万9,000㎡、オフィスは約8万5,500㎡、国際水準のホテルは約200室で約2万5,500㎡、宿泊主体のホテルが約300室で約1万4,000㎡をそれぞれ確保します。

設計は、日本設計・清水建設設計共同体、2023年度に着工し、28年度の竣工を予定しています。

おもてなしの空間を配置

新幹線駅直結施設の立地特性を生かして、新幹線アトリウム、駅前広場アトリウム、バスターミナル待合アトリウムを整備、複数の交通機関

との連携とおもてなし空間を提供します。

またホテルについては、世界最大のホテルチェーンであるマリオット・インターナショナルとの提携による国際水準ホテルを開業し、道内外の企業を呼び込む高機能オフィスを整備。約1,000坪の市内最大規模の基準階フロアによって大規模な無柱空間を実現し、多様なレイアウトに対応可能なオフィス機能を提供します。

商業施設は、地域資源や食文化を発信するほか、時間滞在型や、施設での体験を楽しむ小売消費型テナントも導入します。外観には、札幌の市街地を表現する格子状デザインに豊平川のような自然を表すスリットを設け、スリット内部には屋外を見渡せる屋内テラスを整備します。展望施設の頂部にはガラスのスカイボックスを配置、中層部屋上にはスカイガーデンも整備、イベントホールも中層部の上層階に設け、施設と

空間を市民や観光客が満喫できる機能としています。



「おもてなしの空間」を提供する機能が充実した商業施設



さっぽろニユースア・ラ・カルト

- ・フィッシュランド美しが丘店が開店
- ・北海道経営未来塾が入塾式
- ・新さっぽろ駅周辺再開発に「アクティブリンク」

まちと人が躍動する札幌。このまちではさまざまな出来事と話題が提供され、それが人々の関心を集め、それがまち全体の活気を呼び起こしています。「さっぽろ ニュースア・ラ・カルト」では、そんな「旬な」話題をご紹介します。

アウトドアの多様化にも対応 フィッシュランド美しが丘店

釣具、えさなどの小売店舗「フィッシュランド」を展開しているフィッシュランド（本社・札幌市中央区）は5月26日、新店舗「フィッシュランド+アウトドア美しが丘店」（同市清田区1条8丁目）をブランドオープンさせました。5月2日の1

階釣り具売り場に続いて2階アウトドア売り場がオープンしたことで、フィッシングとアウトドアの本格売り場展開が始まります。

フィッシュランドは、道内に14店舗の「フィッシュランド」を展開。初心者や中級者を対象にリールや竿など購入しやすい価格帯の商品を中心に品揃えしてきました。こうした中で、フィッシングの楽しみ方も多様化し、従来の枠組みにとらわれない展開も必要となったことから、旧「美しが丘店」（清田区平岡1条4丁目、2022年2月末閉店）の移転建て替えを機に、フィッシングにプラスしてアウトドアに焦点を絞った「フィッシュランド+アウトドア」



2階のアウトドアコーナー

の店舗を新設しました。

新店舗は国道36号沿いで、「コストコホールセール札幌倉庫店」の近く。S造2階、延べ約1,500㎡。1階はフィッシング用品、2階がアウトドア用品を提供する。5月にオープンしたアウトドア売り場は、「スノーピーク」、「コールマン」、「ゴス」の3ブランドがショップ・イン・ショップを展開。同社では「キャンプを中心とした品揃えで各ブランドの直営店に近いサービスを提供できるのが強み」（フィッシュラ

ンド田中大輔営業課長）と話しています。

オープン以降、若者層や女性客といたったこれまでの「フィッシュランド」の客層と違う利用客が増えていくといいます。「アウトドア売り場も従来と違う層のお客さまの利用が見込めます。今回の新店舗は実験的な店舗と位置付けていて、お客さまからお店の評価をいただきたい」（同）と話しています。

未来を拓く経営者達 北海道経営未来塾が入塾式

北海道の若手経営者を育てる官民協同の「北海道経営未来塾」は5月20日、札幌市中央区の札幌パークホテルテラスルームで第7期の入塾式を開催し、塾生や来賓など約50人が出席しました。

入塾式では7期36人（新人15人、

継続21人が、長内順一塾長から入塾証書を受け取りました。長内塾長は、「7期のテーマは信頼とリアリティ。経営者として信頼、信用とは何かを学び、それを自分の経営に落とし込み、結果を出すことを心掛けてほしい」と式辞を述べました。



来賓からは「1年間という共通の時間、共通に与えられた関係の中から出会いや縁をどう生かしていくかは皆さん次第。飛躍する1年になることを祈念したい」（鈴木直道北海道知事）「ヨットは同じ風に吹かれても帆の張り方次第で西にも東にも

行ける。どう張るのかを決めるのは皆さん。多くの方に支えられ、期待されている思いを大事に受け止めてほしい」（秋元克広札幌市長）「難局を乗り越えていくのは若い人たち。未来塾の機会を踏み台にして地域で活躍する経営者になることを期待している」（岩田圭剛北海道商工会議所連合会会頭）とそれぞれエールを送りました。

最後に、塾生を代表して7期塾頭の若山豪・五島軒社長が、「10年、20年後の北海道を考えた時、私たちの世代が立ち上がらないと、北海道は立ち行かなくなるといふ危機感で臨んでいく。7期の36人で北海道を変えていくという覚悟を表明したい」と決意を述べました。

**施設間を結ぶ「アクティブリンク」
新さっぽろ駅周辺再開発に登場**

新さっぽろ駅周辺が大きく変貌す

るプロジェクトが進められています。駅北側の1街区では、タワーマンションやホテル、商業施設、医療施設の建設が佳境に入っていますが、そこに空中に浮かぶ楕円形の構造物が出現しました。変わる札幌副都心を象徴する景観が一足先に広がっています。

この構造物は、各建物の2階部分で結ぶ屋内空中歩廊です。札幌市内でもサッポロファクトリー周辺のように、珍しい施設ではありませんが、いずれも直線的なもので、今回のような楕円形の空中歩廊は市内初登場となります。

名称は「アクティブリンク」。全長176mで、それぞれの建物の機能を有機的に結び付ける役割を持ちます。

街づくりは、高さを追求する縦の発想が主流となる中、連携に繋がる横



の発想を組み入れた「アクティブリンク」は新しい街づくりのヒントを示すものです。JR「新札幌駅」と地下鉄「新さっぽろ駅」からは、別の空中歩廊で「アクティブリンク」と接続される予定で、両駅から季節や天候に左右されないアクセスが実現します。

上から見るとビルの谷間に浮かんでいるように見える「アクティブリンク」。供用開始は約1年後。生まれ変わる新さっぽろ駅周辺地区を象徴する施設になりそうです。



1街区に登場した「アクティブリンク」
(上は完成予想パース)

驚きと発見、そして北海道へ

今、「ほっかいどう学」が熱い!!



NPO 法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長 新保 元康

北海道の本当の大きさ知ってますか？

当たり前ですが、北海道は大きいのです。私の若い時には「でっかいどう。北海道」(1977年 ANA) という広告が大人気でした。

しかし、北海道の大きさを実感できていない方も多いようです。「北海道には都府県がいくつ入ると思えますか?」と聞くと、「5つか6つ程度」と回答する方がほとんどです。

実際はどうでしょう。下の地図をご覧ください。この地図では実に15の都府県が北海道の中に入っています。「知事が15人いても不思議ではない広さですね」と言うと、みなさん納得の表情となります。この広告の「日本は小さい。北海道は大きい。」というキャッチコピーも痛快です。道外の方には申し訳ないのですが、「どうだ!」と思わず鼻の穴が膨らんでしまいます。なにしろ、首都・東京は、後志よりも小さいのです。北海道全体(北方領土除く)では、東京だけだと実に36個も飲み込む広さがあるのです。

この北海道の大きさをなかなか実感できないのはなぜでしょうか。

実は、小学校の地図帳にもちょっと秘密があります。日本は北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州の8つの地方に分かれます。これらの地図とよく見ると…。なんと、北海道だけが160万分の一の縮尺で、他の7地方は100万分の一で描かれているのです!旅行用の道路地図も同じです。北海道だけは縮尺が大きい。つまり、北海道は、他よりも小さく描かれることが多いのです。

観光客の「函館山で夜景を見てからすすきのへGO!」という無邪気な誤解はこんなところからも生まれるのかもしれないね。どんな誤解も笑って許す!我々北海道人は心意気こそ「でっかいどう」で参りましょう!



2016年度北海道広告業協会 PR 広告最優秀賞作品



Profile

新保 元康 (しんぼ・もとやす) 1958年小樽市生まれ。北海道教育大学卒業後、札幌市内の小学校に37年間勤務し、屯田小学校など4校で校長を務める。定年退職後、2019年に発足したほっかいどう学推進フォーラム理事長に就任、現在に至る。

編集後記

- ▽「企業のためのよろず情報誌 K I S E T S U」7月号をお届けします。今号では、ICT(情報通信技術)活用をご紹介します。市街地工事でのICT活用は多くの課題がありますが、デジタル化の波は今後も収まることはありません。まずは知る、聞く、試すから始めてみませんか。
- ▽この号が皆様に届く頃は、北海道もいよいよ本格的な夏を迎えます。去年は記録的な猛暑でしたね。豪雪の年は猛暑になる、との風説もあります。でもクーラーのない我が家にとって昨年のような猛暑はある意味「災害」です。ほどほどの暑さ、ほどほどの雨を願っていますが、異常気象がもはや「異常」ではなくなっている昨今、覚悟が必要かもしれませんね。